

小沢映子後援会だより  
16

# 四っ葉のクローバー

「人権とは、だれの足も踏まないこと、だれにも足を踏まれないこと」

落合恵子さんが講演の中でいった言葉です。日本国憲法は、国民

主権、平和主義、基本的人権の尊重、の3原則を基本理念としています。私たちはだれもが人間らしく、幸せに暮らす権利、「人権」を持っていきます。

しかしながら、偏見や差別、あるいは暴力などによって、現実には人権が侵害されており、女性、子ども、高齢者、障がいのある人等をめぐる人権など、依然として多くの人権問題があります。

踏まれた方は痛みを覚えていますが、踏んだ方は気になりません。私たちも知らず知らずのうちに踏



一九四八年国連で採択された「世界人権宣言」は基本的人権の尊重の原則を定めたものであり、「すべての人間は生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である…」とうたわれています。

この精神を実現するために国連では、「人種差別撤廃条約」「女子差別撤廃条約」「拷問等禁止条

約」「子どもの権利条約」など、これまでで二十六の条約等が採択されています。

静岡県では「静岡県人権施策推進計画」ふじのくに人権文化創造プラン211を策定して平成十六年十二月「しあわせ社会はみとめあいから」とふじのくに人権宣言をしました。

そこで、一番市民と近い基礎自治体である富士市での人権教育・啓発について取り組みや実態を質問しました。



**一般 質問** **共に生きる社会の実現を理念とした「ふじし障害者プラン」**  
**「自立と共生をめざして」**

一九八一年国際障害者年以降、日本の福祉は、ノーマライゼーションを基本として進められてきました。この理念のめざすところは「障がいのある人もない人も、ともに地域の中で生きる」ということです。多くの先進国では、この理念に基づいて、施設入所者の地域移行を図り、施設の閉鎖や、定員を大幅に減少するなど、施設入所をなくしていきましました。ところが日本は数年前まで入所施設を作っていました。日本には、入所施設で暮らしている知的障害者が12万人います。彼らは、何か悪いことをして施設に入れられているわけではありません。好きで施設にいるわけでもありません。多くの親が、自分が死んだ後の不安から入所施設を望んできました。行政もそうした親の要望にこたえてきました。しかし施設に入れられた本人達の思いはどうなのでしょう。かつて入所施設で暮らしていた人が、自分の体験や意見を支援者に話しました。

**46歳 男性**  
 「僕は、脳性マヒで体が動きにくい  
 です。今は会社の社員寮で一人暮らしを  
 しています。施設の事をどう思うかという  
 ふうに聞かれたら、簡単にいえば「**隔離**」  
 されていると言いたい。何が隔離かと言  
 うたら大きな施設で、百人もの知的障  
 害者が町から離れて一つの所で生活  
 しているところだったから。たまに町へ  
 出ると言うても職員と一緒にやし、自  
 分で好きなように行動でけへん。僕に  
 対して施設は息が詰まる。他のみんな  
 も言うてた。狭い部屋で何人も人が生  
 活をしてた。持ち物がなくなる。お金  
 がなくなる。友達ともめめる。職員が  
 お節介をする。施設の決まりは職員が  
 決めたこと。ご飯は夕方5時に食べる  
 こと、消灯は9時、僕は納得でけへん  
 かった。意見は持っても言われへん。怒  
 られて反対されるから言うても仕方な  
 いと思っている。施設は護られ過ぎて  
 いる。職員は護っているつもり。僕は  
 施設におったとき、いつも「早く出た  
 い」と思ってた。他にも施設を出たい  
 人がおった。そやけどみんな施設を出  
 てやれるか不安を持ってた。就職でけ  
 へんかっても、地域で生活したい人は  
 ある。知的障がい者もみんな違うと思  
 う。できることは自分でやって、でけ  
 へんことは助けてもらう。でけへんこ  
 とがたくさんある人は、グループホーム  
 で世話人に助けてもらって、地域生活  
 が出来たらええと思う。だれか知的障  
 害者の国会議員がでてこんかなあ。み  
 んな無理やと思ってるやろけど、そこが  
 狙いやで。なにかが変わると思うで。」

**40歳 女性**  
 「グループホームで暮らしています。  
 私が施設にいたのは7年です。これでも短  
 い方です。30年もずっといる人もいま  
 います。障がいが重いからといって施設  
 に関し込めておくのは反対です。4人部  
 屋でプライバシーは全くありません。起  
 きる時間から寝る時間まで何から何ま  
 で決まっています。職員が目24時間あ  
 りました。自由がない。絶対施設には戻  
 りたくない。職員をいつも気にしていな  
 ければならないのってどういふことか  
 分かりますか。」

**女性**「私らは人間に間違いない、  
 今施設にはいった人達はみんな出たら  
 ええんよ。いろんなことが分かるよにな  
 るわ。総理大臣にいつか会ってみたい  
 なあ。総理大臣でも施設で何カ月か生  
 活してみたら、施設をどうしたらええ  
 かが、よう分かると思うわ。」

**50代 男性**  
 「僕は4人部屋におった。寝る時  
 もいっしょ、おやつを買いに行くときも  
 いっしょ、並んで一緒に買わないと職員  
 に怒られた。「並んでいきなさいよ！」  
 とときついうもんで、緊張しました。お  
 やつを買うのは大変でした。「いいこ  
 になりなさいよ！」って先生は僕たちを  
 たたいたよ。でも何で叩くか分からん  
 かった。悪いことはしとらんかったけど  
 先生は叩いた。施設はだめです。僕は  
 施設には絶対戻りたくない。何のため  
 にぼくはたくさん我慢していたのか分  
 からないからです。夢なんか見たい  
 けないところだった。」

今いくつか施設から出た本人達の声のごく一部を紹介しましたが、行政や施設の職員等支援する人たちの努力で、こうして施設から出られる人は入所施設全体のたった1%です。富士市では施設から地域への流れが進んでいません。「ふじし障害者プラン」では、障がいを抱えていても、地域で共に暮らすという理念が大きく掲げられているにもかかわらず、絵にかいたモチにならないよう、プランを作っただけのものにならないよう提言しました。

**一般 質問** **市長の施政方針に**  
**対する代表質問**

2月議会で代表質問に立ちました。「コンクリートから人へ」の理念に基づき政策や社会の転換がなされようとしています。市長においては、「市民の安全・安心な日々の暮らしを支えていくことが、市政のかじ取り役である私の使命である」と述べています。

施政方針で述べられた数々の施策に対する基本的な考えや方向性を、子ども、女性、高齢者、障がい者、難病等々、様々な支援が必要な人たちの立場から質問しました。



豊かな教育環境を整備する。たとえば吉原商業高校などは、市民に開放する場、社会施設としての位置づけは考えているのか。キャリア

・中央病院については、地域の基幹病院としての役割を果たすために、十九年十月に出された中央病

院運営検討委員会からの市長へつになつていくが、市民に開かれるよう、教師の意識も広がっているの  
 ③『新しい公共』市民協働  
 社会の構築について  
 地域まちづくりセンターを中心に活性化を支援し、地域の多様な人材を生かした地域協働型社会の実現とあるが、今の協働の現状はどうか。また、新しい公共とはどのようなものを想定しているの  
 ②「こころかよいあう豊かな人づくりを進めるための施策について」  
 数々の施策を講じるにつけて、人づくりはすべての基本だと思

①「こころかよいあう豊かな人づくりを進めるための施策について」  
 豊かな教育環境を整備する。たとえば吉原商業高校などは、市民に開放する場、社会施設としての位置づけは考えているのか。キャリア

①「こころかよいあう豊かな人づくりを進めるための施策について」  
 豊かな教育環境を整備する。たとえば吉原商業高校などは、市民に開放する場、社会施設としての位置づけは考えているのか。キャリア

二期八年が過ぎようとしています。

多くの方たちのご支援のおかげで、市議会議員として、市政に関わってくださることが出来ました。

「主権」としてさらに進んだ形で実現しようとしています。そうなる、大きな力を持つのは知事や市長です。

真の地域主権の主演

は住民です。市政も議員も

私はずっと「箱モノから人手へ」と言い続けてきました。新政権は

今までのままではだめです。「変え

「コンクリートから人へ」の理念

なくちゃ、変わらなくちゃ議会」

のもと、社会保障にも真剣に取り

です。議員が住民の意を汲んで、

組もうとしています。社会の弱い

市政を進められるか、それにはも

立場だった人達への政策を根底か

つともっと住民参加の機会を保障

ら作り直そうとしています。

しなければなりません。そのため

首長たちがあれほど声を大にし

に今、「議会基本条例」を私たち議

て主張していた地方分権も「地方

員自身で作っています。

「各日午後7時より」

## 「議会基本条例」の説明会

- 9月27日(月)  
富士見台まちづくりセンター
- 9月28日(火)  
吉原まちづくりセンター
- 10月1日(金)  
丘まちづくりセンター
- 10月4日(月)  
富士駅南まちづくりセンター
- 10月7日(木)  
吉永まちづくりセンター
- 10月8日(金)  
岩松まちづくりセンター

各まちづくりセンター  
どこでもいいので、足を  
運んで下さい。私は、条例を  
作る事になった経緯について  
説明します。  
この他にもパブリックコメント  
の募集も同時期にします。  
興味のある方はこちらにも、  
意見をお送り  
ください。

来年、平成23年4月は統一  
地方選挙です。私は3期目に  
挑戦したと考えています。  
またご意見などありましたら、  
何なりとおっしゃって下さい。

質問の動画が富士市議会の  
ホームページからご覧に  
なれます。



◀7月 富士市姉妹都市  
アメリカオーシャンサイド市  
視察



5月 国会見学▶

ご意見・ご要望はこちらまで

小沢映子後援会事務所

〒417-0001 富士市今泉5-6-45  
TEL・FAX 0545-52-5299



ブログ  
更新中です。  
「小沢映子」で検索。  
遊びに来て  
下さいね。

メール eiko@tx.thn.ne.jp URL <http://www4.tokai.or.jp/ozawa/>